

第6回四国中央市総合計画審議会 会議録

日 時	令和4年7月28日(木)午後7時00分～午後8時15分		
場 所	四国中央市消防防災センター 3階大会議室		
出席者	<p>【委員】(敬称略)</p> <p>内村浩美、森川隆、眞鍋一慶、和田茂、近藤善春、村上智子、寶利佳代、星川光代 篠原徹、金崎佐和子、森実純夫、藤田恭二、石村聡美 (欠席:木村康久、清家孝)</p>		
	<p>【市】</p> <p>高橋副市長、大西政策部長 政策推進課:福田課長、坂田課長補佐、大西課長補佐、筱原課長補佐、 進藤係長、大西係長、鈴木係長、合田主査、篠永係員 地域振興課:西岡課長、井原主査、宮崎係員</p>		
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴者数	8名
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 第三次総合計画 基本構想(案)の一部修正について</p> <p>(2) 第三次総合計画 基本計画(案)について</p> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答申について ・今後の策定スケジュールについて ・第7回総合計画審議会について <p>4 閉会</p>		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・委員名簿 ・資料1 第三次総合計画 基本構想(案)の一部修正について ・資料2 第三次総合計画 基本構想(案) ・資料3 第三次総合計画 基本計画-新旧対照表- ・資料4 第三次総合計画 基本計画(案) ・資料5 四国中央市 まち・ひと・しごと創生 『第2期人口ビジョン』 ・資料6 答申について ・資料7 今後の策定スケジュール ・資料8 第7回 四国中央市総合計画審議会について 		

【会議概要】

発言者	内容
	開会
	副市長あいさつ
	会長あいさつ
	議事
(1) 第三次総合計画 基本構想(案)の一部修正について	
事務局	<p>資料1 基本構想(案)の一部修正について、資料2 基本構想(案)、資料5 人口ビジョン により説明</p> <p>【説明内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の審議会で意見があった第三次総合計画終了時の2032年の目標人口の内訳について、年少人口9,000人、生産年齢人口40,000人、老年人口27,500人に修正を行った。 ・人口ビジョン及び国勢調査実施年(2030年、2035年)の将来推計人口を資料に追記した。
	質疑・応答
内村会長	資料5のP2、目標人口65,000人を達成するためには、合計特殊出生率を2030年に1.8に向上、2040年に2.07に向上とあるが、2.07の設定根拠は。
事務局	国立社会保障・人口問題研究所の推計では、将来の人口を維持するために必要な出生率は2.06から2.07とされており、その数値を採用した。
村上委員	未婚化・晩婚化が進む中、愛媛県ではコロナ禍でも若い女性が県外に出ている。若い女性が市内に残っていないと産んでくれる人がいない。いかに若い女性を留めるかということと、2030年に合計特殊出生率1.80を目指すということは相関があるので、ただ単純に1.80に設定すればよいものではない。
事務局	市としても、未婚化・晩婚化は重要な課題と認識しており、市内の人口減少・少子化対策プロジェクトでも議題に上がっている。未婚化・晩婚化の解消に向けて、様々な取組を行っていきたいと考えている。
(2) 第三次総合計画 基本計画(案)について	
事務局	<p>資料3 基本計画(案)新旧対照表と資料4 基本計画(案) により説明</p> <p>【説明内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の基本計画(案)は、前回の審議会で提示した基本計画(素案)をもとに、前回審議会でいただいた意見や市内で見直しを行った内容を踏まえたものである。 ・修正内容は、キーワードの追加や文言の修正、指標の見直しがメインである。
篠原委員	資料4のP36、施策15の成果指標「市内の福祉サービスや介護サービスの満足度」の満足度はどのようにして測っているのか。

事務局	第三次四国中央市地域福祉計画を策定した際に、担当課においてアンケートを実施した。総合計画全般に言えることだが、計画策定時のみでなく、可能な限り随時アンケートを行いたいと考えている。
篠原委員	資料4のP14、施策6の成果指標「事業所数」と「従業者数」では、現況値と目標値が同数であるが、これは同数を維持するという考え方でよいか。
事務局	両項目とも年々減少傾向にあり、増加に転じるのは難しいので、同数の維持を目指したいと考えている。
篠原委員	資料4のP68、上段の注釈部分の書体は他の施策と統一した方がよい。
事務局	ご指摘のとおり修正を行う。
金崎委員	資料3のP2、施策10の(2)市街地整備の推進において、今回⑥が新設されたが、まちづくりに関してどのような構想やイメージを持っているか。
事務局	中核病院は旧三島医療センター立地場所が建設予定地となっているが、このエリアには、四国中央医療福祉総合学院などの教育系施設、農業振興センターなどの農業系施設があり、中核病院が建設されれば異なる3つの分野の施設が集まることとなり、高齢者から若者まで多様な方々が行き交うゾーンとなる。箱物の整備だけでなく、エリア全体を活性化するような都市デザイン(サインボードや歩道の整備など)も含めて、一体感のあるまちづくりを進めていきたい。
	(3)その他
	・答申について
事務局	資料6 答申について により説明 【説明内容】 ・本日の審議会の内容をもって、8月5日(金)14時から、市長へ答申を行う。 ・内村会長、森川副会長に出席いただき執り行うが、委員も出席可能なので出席いただける方がいれば、会議終了後に事務局までお願いしたい。 ・資料2枚目が答申書の写しである。内容は事前に内村会長に諮り、この文面としたので確認願いたい。
近藤委員	人口減少・少子高齢化に対して、ありきたりではなく、もう少し踏み込んだ対応が必要である。今のままでは目標の達成はできないと思う。若者が帰ってくるUターンの施策、人口を増やす施策を充実させる必要がある。こういったことを市長に答申してもらいたい。
事務局	本市は、他市や都会に負けない、誇れるべきまちであると思っている。市役所のPR不足や発信不足であるが、若い人たちには本市の魅力に気付いてほしい。近藤委員の貴重な意見は市長にも報告し、政策に反映するようにしたい。
内村会長	答申書の3段落目の2行目、これまでのやり方にとらわれない新しい発想を持ってという文言は必ず入れてほしいとお願いした。答申書の文章より、行間で熱意を市長に訴えたい。市の各部署で実施計画を策定することになるかと思うが、具体的な方策を、具体的に実現可能とするように取り組んでもらいたい。
	・今後の策定スケジュールについて

事務局	<p>資料7 今後の策定スケジュール により説明</p> <p>【説明内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月中には庁内及び議員全員勉強会での説明・確認を経て、タウンコメントを実施する。10月に庁内で決定し、11月の議員全員勉強会を経て、12月議会に基本構想の議案を上程する。3月には冊子として製本したものを委員に配布予定である。
	質疑無し
	・第7回総合計画審議会について
事務局	<p>資料8 第7回四国中央市総合計画審議会について により説明</p> <p>【説明内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期は10月中旬を予定している。議題は、本審議会への諮問事項の一つである、第2期総合戦略の令和3年度進捗評価である。以前配布した総合戦略の冊子を持参いただきたい。
	質疑無し
	4 閉会